

(16) 新型コロナウイルス感染症による教室への影響2

① 休止した期間の有無

(教室)

休止した期間があった	180
休止した期間はなかった	6
記述・選択なし	5

② 「三密」を避ける対策の有無

(教室)

対策を行っている	170
対策を行っていない	8
教室が休止中である	7
記述・選択なし	6

③ 「三密」を避ける対策の方法

複数回答可(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
ア	学習者や学習支援者の参加人数を制限した	56	2	37	17
イ	学習時間を短縮した	55	7	27	21
ウ	広い教室へ移動した	47	3	27	17
エ	教室数を増やした	40	2	25	13
オ	オンラインでの学習活動を実施した	60	0	54	6
カ	その他	64	13	31	20
	記述・選択なし	4	1	2	1

(識字教室:24 教室 日本語教室:106 教室 識字・日本語教室:61 教室)

(その他の回答)

- ・間隔をこれまで以上に空け、人と人との距離を保った
- ・マスク、手洗い、検温、部屋の換気の徹底
- ・独自のガイドラインを作成
- ・教材教具の消毒
- ・パーティションの設置
- ・学習支援者はフェイスシールドを着用
- ・宿題郵送→解答返送を学習支援者、学習者間で実施
- ・宿題形式を実施
- ・歌の時間を休んでいる
- ・加湿器や濡れタオルで加湿
- ・会話練習の際、対面での指導は避けている
- ・教室を追加した

❖ 休止した期間の有無、「三密」を避ける対策の方法

- ・「休止した期間があった」教室は全体の約 94%、「参加人数を制限した」教室は約 29%、「学習時間を短縮した」教室は約 29%となっており、コロナにより学習者の学習機会に制約がかかっていることが伺える。
- ・教室の位置づけ別回答について、識字教室、識字・日本語教室においては、「イ:学習時間を短縮した」が最も多かった。日本語教室においては、「オ:オンラインでの学習活動を実施した」が最も多かった。
(「カ:その他」を除く)

④新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のために、教室で準備したもの

複数回答可(教室)

ア	消毒用アルコール	175
イ	マスク	111
ウ	フェイスシールド	86
エ	防虫用サッシ・カーテン	7
オ	非接触型体温計	136
カ	飛沫防止用カーテンフィルム・アクリルボード	75
キ	使い捨て消毒シート	64
ク	キッチンペーパー・ティッシュペーパー	70
ケ	二酸化炭素濃度計	3
コ	換気用扇風機・サーキュレーター	28
サ	特になし	6
シ	その他	19
	記述・選択なし	7

(17) コーディネーター

❖ コーディネーターについて

- ・調査票では、コーディネーターとは「教室活動全体のとりまとめや支援者と学習者のマッチングなどを行う人」という定義を示した。

① コーディネーターの有無

(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
ア	固定のコーディネーターがいる	83	7	47	29
イ	一定の期間で交代するコーディネーターがいる	27	2	12	13
	固定のコーディネーターがいる 一定の期間で交代するコーディネーターがいる	4	0	2	2
ウ	コーディネーターはいない	71	13	43	15
	記述・選択なし	6	2	2	2

② 「コーディネーターはいない」の理由

複数回答可(教室)

	全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
教室が小規模であるため	39	6	19	14
学習支援者が協働で行っている	30	5	22	3
人員不足のため	3	0	3	0
その他	7	5	1	1
記述・選択なし	9	2	4	3

(識字教室:13 教室 日本語教室:43 教室 識字・日本語教室:15 教室)

(その他の回答)

- ・クラス形式でありマッチング等の業務は発生しない
- ・教室が休講中のため不在
- ・職員が学習支援者と密に連絡、調整を行いながら講座運営しているため

(18) 教室の広報

複数回答可(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語 教室
ア	市町村の広報誌やホームページ	129	13	69	47
イ	教室の広報誌やチラシ	88	2	71	15
ウ	教室のホームページやSNS	55	1	45	9
エ	自治会など市町村のさまざまな団体を通じた人的ネットワーク (外部団体の広報紙やホームページを通じた周知・広報も含む)	56	3	41	12
オ	学習支援者や学習者の口コミ	132	12	87	33
カ	その他	35	9	19	7
	記述・選択なし	4	1	1	2

(識字教室:24 教室 日本語教室:106 教室 識字・日本語教室:61 教室)

(その他の回答)

- ・特に広報は行っていない
- ・教室を主催する国際交流協会情報誌
- ・学校や教育委員会を通して
- ・大学にポスター掲示
- ・国際交流協会のホームページ
- ・外国人を雇用している企業との話し合い
- ・ボランティア養成講座の中で、教室を紹介してもらう
- ・ラジオ
- ・市内公民館でポスター掲示
- ・識字・日本語センターのホームページ
- ・行政発行の「生涯学習の案内」